

事業名

## まちづくり活動を広げよう !

事業費（予算額）： 363,000 円（内まちづくり総合交付金課題解決特別事業： 363,000 円）

**P** 事業の目的（解決を目指す課題）や見込まれる成果

- ① 弥栄の朝市(や市)の集客数や新規出店者の増加を目的とする。
- ② まちづくり活動の将来的な展望を見据え、「子どもまちづくり委員会」を発足させ、まちづくり委員会が実施する活動や事業に地域の子どもたちが積極的に参加する機会を作る。

**D** 事業の概要

- ① まちづくり事業が始まった当初から続いている「弥栄の朝市(や市)」であるが、更なる集客数や新規出店者の増加を目的とした広報活動を展開するため、浜田市内や他地域の方々にも広く知ってもらえる新聞折り込みチラシを 2 回、また通常チラシも作製し配布した。
- ② 子どもまちづくり委員会の発足式を行い、任命書と記念ファイル等を授与し、子どもまちづくり委員の名刺をパソコンで作成し所持するようにした。早速「二十歳の集い」事業では、アイデアいっぱいの案内状の作成や、式典での裏方の仕事も分担した。  
また、子ども支援事業である「やさか塾～冬合宿」の準備、運営にも参加した。他にも「ウルトラマラニック」のエイドに出店するための準備も公民館と共に行った。

**C** 課題の解決度合（10段階の自己評価）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

・上記評価の理由

- ① や市新規出店者 2 件が増加、フリーマーケットも漸次増加して定着感がある。
- ② 子どもまちづくり委員会は今年度 5 名で発足したが、次年度も新たな委員の参加が見込まれる。

**A** 事業の継続、発展に向けて今後取り組むこと（評価を 10 に近づけるために）

- ① 他地域からの同時開催イベントの申し込みもあり、期待値は強いと感じるが、計画準備、当日の運営等委員の負担軽減等新しい発想による展開が必要である。
- ② 子どもまちづくり委員は児童生徒なので、学校や部活等の日程から意欲はあっても十分な参加が叶わないことが多かった。また、広報も不十分であった。

